

# 愛称通りを歩く③

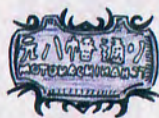
## 元八幡通り



▲暮らしを支える商店街

暮らしを支える商店街。愛称の由来ともなっている元八幡通り。毎年4月・11月にはセールを兼ねて歩行者天国を開催。「普段は車の往来が激しいですから、この日だけでも生活道路として楽しんでもらいたいです」と元八幡通り商業会の江草正晴会長。

また、近くには江東図書館があります。蔵書が多く、ゆつたり閲覧できるので、書齋代わりに利用している方も多いようです。



江東図書館  
レンガ造りの  
モダンな建物



防火の神として、江戸市内の消防組から信仰された

元中央寺

元八幡通り  
(は、関東大震災  
前まで元神川  
だったのだ！)

↑東砂

江戸富賀岡八幡宮



江戸時代に作られた  
コマイヌ

区内最古の江戸神輿がある！

南砂三丁目公園



野鳥の観覧もできる。

東西線  
南砂町駅

震災前までは元神川と呼ばれた川でした。

バス通りでもあるこの通りは、南砂四丁目の福島橋交差点から南砂七丁目、ちょうど富賀岡八幡宮(元八幡)の裏までを結んでいます。今では家庭用品の店や酒屋など、暮らしを支える商店が軒を連ねています。

幡は歌川広重の「江戸名所百景」や「江戸名所図会」にも描かれているように、江戸庶民の観光名所でした。本殿には文化10年(1813)に作られた区内最古の江戸神輿が安置され、社殿背後には富士塚が築造されているほか、歴史の長さを物語る石造物が残されています。今年も7月1日には富士塚で山開きの祭礼を行います。



▲江戸の名所だった富賀岡八幡宮

↓東陽町